

# 神樹の会会報

No. 60  
平成15年12月19日

発行所：神樹の会  
発行人：宮脇 テル子

**本部事務所** (六甲作業支援センター内) ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

**明芳デザイナーズ** ☎735-8835  
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

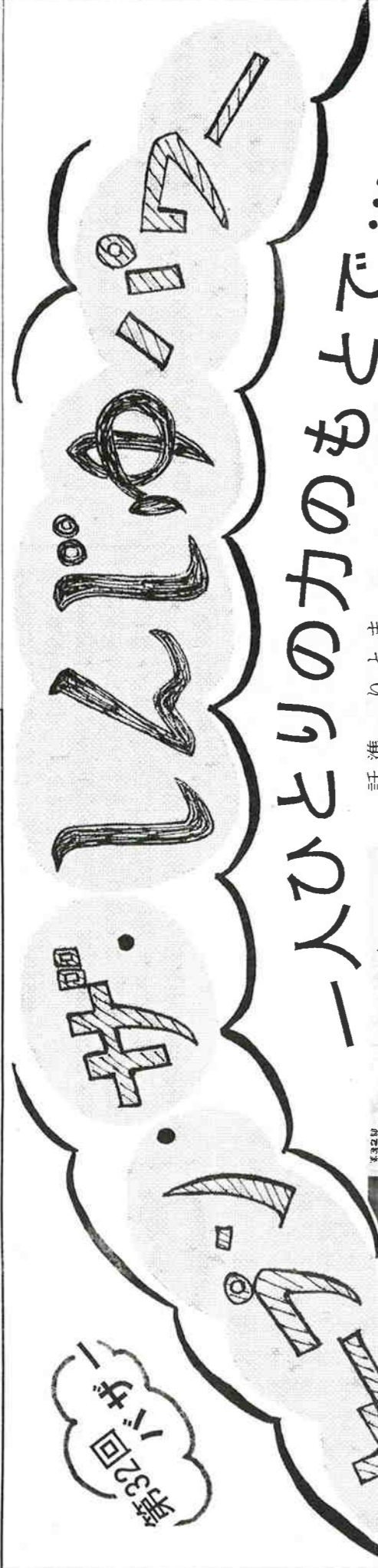
**福祉の店 “いたやど”** ☎733-2477  
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

**たおじ作業所** ☎987-2532  
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

**六甲作業支援センター** ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

**ゆめの作業所** ☎578-3539  
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

**垂水作業支援センター** ☎782-9675  
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3



神樹の会2003/バザール



▲バザール会場

## バザール開催お礼

神樹の会会長 宮脇 テル子

去る十月三十日、三十一日の両日、ハートランドスペースシアターにおいて行われた神樹の会第32回バザールは無事終了しました。多額の寄付金をいただいた方々、品物を寄付された方々、ボランティアで労力を提供してくださった方々、また二ヶ月にわたる会員の方々のご奉仕に対しまして心よりお礼申し上げます。

不景気などにも関わらず、会場いっぱいになり、積み上げられた品々を目の当たりにし、神戸市立幼・小・中・高・私学のPTA、企業、一般市民のご厚意の積み重ねの上にこのバザールが成り立っていることに、あらためて熱い思いと感謝でいっぱいになりました。おかげさまで、収益は昨年より少し上がりましたことを感謝してご報告いたします。本当にありがとうございました。

毎年バザール開催のとき、会員の高齢化と準備の大変さで、バザール開催の是非が話合われますが、収入源が会費とバザール

## 訪問介護員養成研修受講生募集のお知らせ

神樹の会では、地域で共に豊かに暮らしていただける社会をめざし、各種事業を行っています。

このたび、在宅障害者の介護員の養成研修を次のとおり実施することになりました。受講ご希望の方は下記要綱にしたがい、ご応募ください。

1. 主催 NPO福祉支援団体しんじゅ
2. 研修の名称 「しんじゅ」ホームヘルパー養成研修事業 2級課程(通学)
3. 定員 20名
4. 研修実施場所
  - ・神戸市立東部在宅障害者福祉センター
  - ・神戸市立立心身障害福祉センター
  - ・神戸市立看護短期大学
  - ・身体障害者療護施設リハビリ神戸
  - ・介護福祉施設山手さくら苑
5. 研修期間
  - 平成16年1月10日～
  - 平成16年6月5日
  - 毎週土曜日
  - (原則としてAM9:30～PM4:30)
6. 受講料 89,300円  
(入会金・受講料・教材費・実習諸費用)
7. 納付方法 一括払い/分割払い(2回)
8. 問い合わせ先 六甲作業支援センター内  
TEL/FAX:(078)821-1533



収益からと成り立っている会であることを鑑み、内容を見直しの上で開催ということになりました。今年は会員の希望によりバザール商品をいただきに行く部分において、会員以外の方々の奉仕に対しまして有料化を図りました。売る方法や会計の仕方なども含めまして、今後、会員の皆様と話し合いながらよい方向へと進めていきたいと願っています。

会の設立以来からの目的であります地域と共に存在する、そして在宅障害者に対する支援のための核としての療護施設建設の早期実現を願うのみであります。

## 第32回バザール収支報告

収入の部		支出の部	
第1日目売上	2,489,331	会場使用費	302,610
第2日目売上	1,154,793	会場設営費	548,625
会場募金	6,127	印刷費	84,000
委託より	311,755	一般物品費	23,939
寄付金	773,357	材料費	45,469
		通信費	69,890
		事務費	17,200
		交通費	98,971
		雑費	262,358
計	4,735,363	計	1,453,062

差引収益 3,282,301円

## 目下かみしめて過ごしています

石倉 旬子

学校生活を終えて、はや八ヶ月がたちました。息子は「つくしんぼ」へ通い、給料もいただいて社会人しています。先輩のお母さん方が「卒業したら大変よ」と言われていましたが、その言葉を目下かみしめて日を過ごしています。

障害の重い息子の卒業後の暮らしを、これまでゆっくりと考えてきましたが、親の加齢による大変さを実感している今日この頃です。公的には支援費制度になり、手始めにとヘルパーさんとの付き合いも少しずつ始まり、息子と家族のこれからの暮らしに、この制度をどのように有効に活用できるか思案中です。「地域で暮らす」楽しみでもあり、大いに不安でもあります。特に、障害のある人やその家族だけではこの大きな課題を乗り越えられるものではありません。

これからも神樹の会の会員の方々を始め、いろいろな人達との関わりを大切に知恵や工夫やらを持ち寄って、少しでもより良く、より豊かな暮らしづくりが出来ればと願っています。

会員の皆様、これからも親子共々どうぞよろしく願います。

平成14年度  
垂水養護学校卒業  
石倉良太の母

## 牧野一夫神樹の会名誉会長の叙勲をお祝いする会

ならびに新年会

日時：平成16年1月25日(日)  
午後13:00～

場所：神戸ポートピアホテル  
大輪田の間

平成16年1月10日～  
平成16年6月5日  
毎週土曜日



# ■ NPOしんじゅ シリーズ(2)

NPOしんじゅが認証され、法人格を得たことにつき、社会福祉法人神戸明輪会から六甲作業支援センターと垂水作業支援センターが返還されることになりました。神樹の会発祥の地が六甲作業所であることから、大変喜ばしいことではありますが、デイサービスが支援費対象であるため、今後、自己努力により経営がなされなくてはなりません。また基準外の施設として補助金をいただいていた明芳デイサービスもNPO法人の傘

下のもとでの運営を余儀なくされることになりました。この3事業所が手を携え、それぞれ在宅障害者の支援の場、サービスを提供する場として整備を進める予定です。

1面でご案内のとおり、NPOしんじゅでは、在宅障害者のためのホームヘルパー養成講座2級課程(通学)を始めます。この講座は厚生労働省の定める2級講座として兵庫県認定を受けたもので、修了後はホームヘルパーとして登録できます。そして来年度はホームヘルパー派遣事業を開設する予定です。

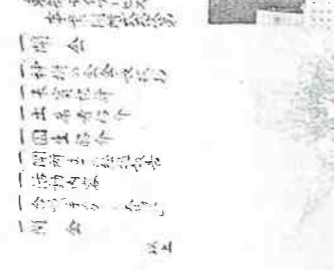
誠にありがとうございました。平成15年8月より11月までに次の方々より、ご寄付いただきました。西田 賢治様 東郷 正彦様 前川 直子様 清晴様 谷 光子様 西田 良子様 谷 本多様 木下 直子様

# 牧野名誉会長

このたび神樹の会名誉会長 牧野一夫先生が長年のご功績により、高齢者叙勲で勲四等瑞宝章受章の栄に浴されました。牧野先生は、友生養護学校長として障害児教育に多大なるお力を注いでこられ、本会設立に際してはご指導を賜り、また会長・名誉会長としてその任に当たられました。鈴木正二郎先生と神樹の会相談役 谷良子からお祝いの言葉をいただきました。



▲(現)魚崎デイサービスの前身 神樹の会東部デイサービスの開所式にて(平成元年)



## 牧野一夫名誉会長の叙勲をお祝いして

神樹の会相談役 谷良子

この度、神樹の会名誉会長の牧野一夫先生が長年のご功績により、勲四等瑞宝章を受章されました。先生には会員一同、一方ならぬお世話になっており、この受章を皆、我がことのように喜んでおります。本当におめでとございます。友生の校長をなさっておられたとき、先生はいつもにこやかな笑顔で生徒と接していらっしや

## 我が人生の師 牧野一夫先生

元友生養護学校教諭 鈴木 正二郎

過ぎません。しかしその間に私は牧野先生という「我が人生の師」を得ました。私が先生を「我が人生の師」と密かに勝手にと呼びするのは、先生に一步でも近づきたいという私の切なる気持ちに他なりません。

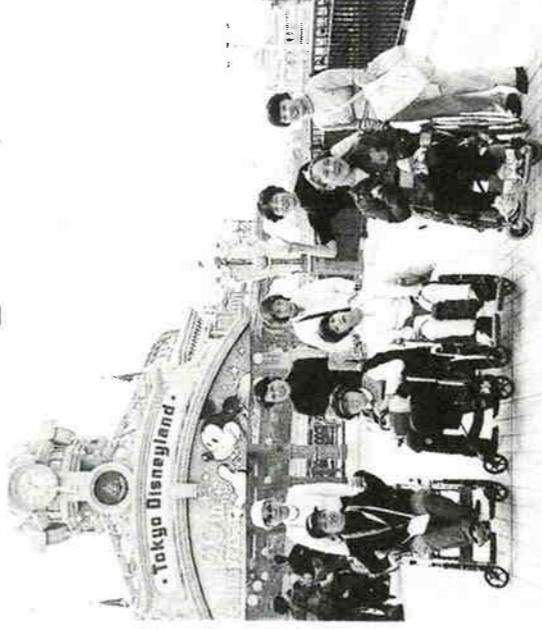
「我が人生の師」としての先生について、まず第一に「誠実さ」を挙げます。どの人にも公平で誠実。人に対するだけでなく仕事にも人生にも誠実という姿勢です。第二は「大きな包容力」です。教職員一人ひとりを認め、長所を伸ばし、すべての教職員をやる気にさせ、総合力として学校が大きな力を発揮したものでした。第三は「教育的識見の確かさ」です。児童・生徒の将来を見据えて「教師は何をなすべきか」と自らに問いかけることの大切さを、身をもって示してくださいました。

牧野一夫先生のこの度の勲四等瑞宝章のご受章を心からお祝い申し上げます。先生の教育的業績から考えれば当然の受章であり、むしろ遅きに失した感なきにしもあらずですが、先生にご指導を受けた者の一人として、我がことのように喜んでおります。

私は友生養護学校に十五年間勤務しましたが、最後の四年間は牧野校長先生でした。四年という年月は、私の教員生活三十八年間のほんの一部にしか

## 職員紹介

- ☆六甲作業支援センター (常) 進子 輝子 子典 吉男
- ☆垂水作業支援センター (常) 豪秀 夫子 夫浩
- ☆明芳デイサービス (常) 之華 美子 治
- 保手濱 田藤 田野 上坂 西 (常) 頼幸 や行宗
- 辺幅 垣田 村村 (常) 茂千 成妙 英
- 毛井 下岡 本 (常) 久す 真由 美
- 三葉 松長 藤 (常) 口田 村 (常) 美子 代美
- ☆たおじ作業所 (常) 山太 北 (常) 子江 成
- ☆ゆめの作業所 (常) 日岸 北 (常) 寿安 吉



▲楽しかったね。

## ひとあし早いクリスマスプレゼント

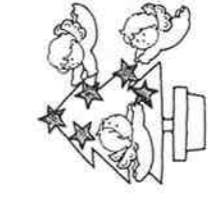
十一月六日、七日と明芳デイサービスは東京ディズニーランド(DL)とディズニーシー(DS)に行ってきました。今年は開園20周年でスペシャルイベントもたくさんあり、またクリスマスファンタジーが始まっているということで、皆、ワクワクとして新神戸駅を新幹線のぞみに乗っていき出発!

列車の中ではDLとDSのグループ分けのため冊子を見たり、どのアトラクションを回ろうかなど、話し合っているうちに東京駅に。三回もエレベーターを乗り継ぎ、動く歩道を使って地下深く(?) JR京葉線へ。電車の乗り降りもスムーズに舞浜駅到着。そこからはグループ毎に行動開始。

サンタ姿のミッキーやミニ、ツリーなどで、ひと足早くこころはすっかりクリスマス。華やかな電飾いっぱいパレードや各アトラクションを、またホテルミラコスタでバイキングを食べながらシーシンフォニーを聴き、それぞれにディズニーを楽しんで、

胸いっぱいの思い出と共に、手にいっぱいのお土産を抱え神戸に帰ってきました。

(明芳デイサービス事業所 所長 西原 孚左)



## 一 計 報 一

平成十五年九月に 玉井 祐次様(元垂水養護学校先生)が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

お☆と☆が☆き  
今年も残すところあとわずか、慌ただしい時期となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。街は、イルミネーションの光でとっても華やかになり、不況のなか福祉施策はどうなるのかな? という不安な気持ちを光が癒してくれますね。来年も明るく平和な年でありますよう祈りつつ会報6号をお届けします。  
(白石 辻野 植田 瀬口 小野 高脇)



# 神樹の会会報

No. 59  
平成15年8月11日

発行所：神樹の会  
発行人：宮脇 テル子

会員総数	476
出席者数	43
委任状	256
合計	299



平成15年度総会が、去る6月29日(日)に神戸市勤労会館において、多数の来賓をお迎えし開催されました。各氏よりいただきましたごあいさつの要点を紹介いたします。

## 主役はあなた

求めるサービス 求めらるサービス

第32回 総会

神樹の会会長 宮脇 テル子

### 目標実現を目指して

神戸市市会議員 本岡 節  
福祉環境委員会委員長

十五年度総会おめでとうございます。選挙後初めての市会で福祉環境委員会の委員長に選ばれました。神樹の会の重点目標に「地域社会への参加と交流」が書いてありますが、その実現のために頑張っていきたいと思っています。私が神樹の会を初めて知ったのは上の子が小学校に入学した時で、バザーに協力したりしました。その後も引き続き活動されていることに敬意を表しています。みなさんの思いをそれぞれの委員に伝えていきたいと思っています。

- 平成15年度 重点目標
1. 会員相互の絆を強く、共に生よる輪を広げよう
  2. 療護施設の早期実現
  3. 心身障害児(者)の地域社会への参加と交流
  4. 〇事業の確保・拡充  
バザー活動の充実



この四月から支援費導入がなされました。神樹の会では六甲作業支援センター・垂水作業支援センター・明芳デイサービスの三事業所がその対象となり、三月から事業者指定を受けるため必要書類を準備し整えてまいりました。おかげさまで三事業所とも神戸市から基本型Ⅰの給食型として指定を受けることができました。新しい制度にうまく移行できたことを感謝して報告したいと思います。

最近の福祉の流れをみますと、在宅中心主義・施設の小規模化・個別的処遇が挙げられると思います。また、地域への動きが多岐の分野から進められようとしています。障害者が地域で生活するには、サポートのネットワークが必要になってまいります。そして市街地において核になる施設が必要であります。

神樹の会では二十二年間、療護施設建設を重点目標の第一に挙げて進めてまいりました。入所される方は五〇人ですが、付帯事業であるショートステイ・デイサービス・入浴サービス・訓練教室などを加えますと、かなりの方が利用できるのが会員にとって朗報になると思います。多くの方々の知恵をいただき、先生方の応援も得て表現に向けてぜひ努力し進めていきたいと念願しています。

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835  
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

たおじ作業所 ☎987-2532  
〒651-1312 神戸市北区有野町有野白原3689

ゆめの作業所 ☎578-3539  
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

福祉の店 "いたやど" ☎733-2477  
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

六甲作業支援センター ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

垂水作業支援センター ☎782-9675  
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3

### 時代の流れと 神樹の会に期待すること

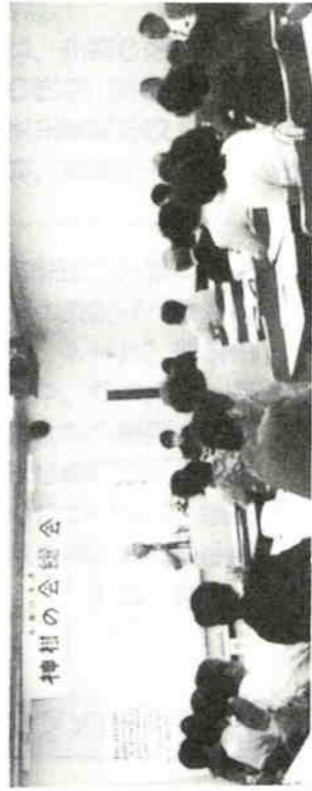
友生養護学校校長 伊達 一美

今年、文部科学省と厚生労働省が協力して、医療的ケアに関する事業の予算要求をしました。文部科学省は予算が認められて研修事業等が開始されたが、厚生労働省の看護師派遣の予算要求はゼロ査定となり、歴史的な事業はうまくいきませんでした。

昭和47年に神樹の会が結成されましたが、その前後の状況はどうであったかという点、S31年友生養護学校開校、S42年砂子療育園(重症心身障害児施設)開設、S45年大阪に金剛コロニ1、S46年群馬県に国立のぞみの園開設

平成14年12月より平成15年7月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。

池原 順子様  
宮脇 テル子様  
故増田 龍昭様  
八田 悦子様



▲神戸市保健福祉局参与 大下知則氏 あいさつ

### 支援費制度の行政の役割

神戸市保健福祉局参与 大下 知則

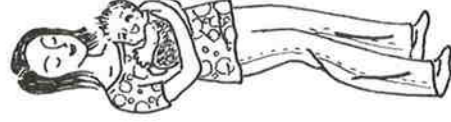
4月から支援費制度に移行し福祉の流れが大きく変わってきています。予算編成に際し、重度障害者福祉年金を支援費施策に振り替えのお願いをし、皆様のご理解ご支援をいただき成り立ちました。6億4千万円すべてを障害者施策に振り替え、神戸市の承認のもと7千2百万円前年度より増額しました。

支援費制度の行政の課題は地域での生活をどうするかであり、それにはサービスを強化しなければなりません。神樹の会の事業所の3カ所も支援費制度の登録業者となり、ホームヘルパー・ショートステイ・デイサービス等も昨年より肉厚になってスタートできました。

今まで行政がサービスを提供していましたが、支援費制度では障害者が主体的に契約するシステムであり、そのため登録業者も増やし、情報が早く届くように基盤作りが必要でした。昨年は障害者地域生活支援センターを3カ所、今年は北神・東灘にオープン予定で、24時間体制で応じて、必要ならば家に訪問して相談を受け

ます。

福祉の基本は「いっしょに」であり「地域で生活できること」で、神樹の会の重点目標「地域社会への参加と交流」は私たちと一致しており、ハード面は整備できて心のバリアフリーがどう解けていくか、一人一人の声かけが地域の理解につながるの、障害者の方が地域生活を気兼ねなくしていただけるようご協力ご支援をお願いします。



設と、五〇〇人、一〇〇〇人という大規模施設がつくられています。

昭和50年代も、S50年のじぎく療育園、S51年市立きささんか療育園、S57年愛生園と入所施設の建設が続きますが、S54年義務制実施及びS56年の国際障害者年という大きな出来事がありました。ノーマライゼーションの理念の浸透や医療技術などの進歩もあり、昭和60年には在宅酸素療法が保険診療にカウントされ、次第に障害の重い子どもも通学する時代になり、重度重複・医療的ケアなどが課題とされる時代になりました。

平成2年に重症心身障害児(者)通園モデル事業が全国五カ所でスタートし、その後本格実施となりました。友生・垂水養護学校では、現在三・四割の子どもたちが医療的ケアが必要となっています。この間、地域生活の考えから、デイサービス・小規模作業所が増大しました。

十年毎に区切った大きな流れから見えてくることは、時代が変化し、様々なニーズを持つ子どもたちが見えてくるようになり、神樹の会の役割も、こうした時代の要請に応じた多様な活動が今後期待されることになると思います。